

# 金沢大学の超小型衛星の無線局に予備免許



菱田北陸総合通信局長（左）から八木谷金沢大学先端宇宙理工学研究センター長（右）へ予備免許通知書の交付

本人工衛星は、金沢大学が開発した、50kg級超小型衛星「X線突発天体監視速報衛星こよう（KOYOH）」であり、X線・ガンマ線放射を観測することによる「重力波対応天体の特定」等、科学観測を目的としています。

人工衛星と地上の間で通信を行う実験試験局に予備免許が付与されるのは、北陸総合通信局では初めてとなるものです。人工衛星打ち上げ後、人工衛星の局と地上に設置する局の間の通信が行えることを確認した後、免許を付与します。

総務省北陸総合通信局（局長 菱田 光洋（ひしだ みつひろ））は、国立大学法人金沢大学（学長 和田 隆志（わだ たかし））から免許申請のあった、人工衛星に搭載される実験試験局及び同局と通信するため地上に設置する実験試験局に対して、9月8日付けで予備免許を付与しました。



菱田北陸総合通信局長（中央左）と金沢大学先端宇宙理工学研究センターの方々